

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	22	事業名	サポートミーティング実施支援事業			戦略コード	2	戦略名	プロ集団の商工会
担当部名	事業振興部	担当課名	地域戦略課	担当課長名	伊藤健一	施策コード	11	施策名	経営指導員の能力強化

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

ベテラン経営指導員の定年退職の増加により、経験の浅い経営指導員が増加していることから、経営指導員の支援力の維持・強化を含む育成が急務となっている。

2. 事業のねらい

サポートミーティングを定期的に開催し、経験年数の浅い経営指導員に対するOJT実施内容を共有化するとともに、指導・助言・フォローを行い能力強化を図る。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30	A	R1	B	R2	B
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

若手経営指導員等のOJTを着実に遂行させるために、各商工会でのサポートミーティングにスーパーバイザーが参画し、OJT推進リーダーや対象者への助言・フォローを行った。

4.昨年度の評価(対応方針)に対する対応

若手職員に対するOJTを計画的に推進するため、定期的なサポートミーティングを実施し、商工会のOJT推進リーダーと連携した育成支援を行う。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
52	定期的なサポートミーティングの実施	各商工会内のサポートミーティング実施のため、チーフスーパーバイザーとスーパーバイザーがOJT推進リーダーおよび対象者と面談し、若手職員個々の育成について協議を行った。	a	a	a	A
53	教育担当者の配置	各商工会のOJT推進リーダーと連携し、随時サポートを行った。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード						取組コード						取組コード					
指標名						指標名						指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性

〈評価の理由〉

経験の浅い経営指導員の増加により、経営指導員の支援能力の向上が急務となっているため、各商工会現場での人材育成の必要性は高い。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

各商工会内でサポートミーティングによるOJTを実施することに加え、チーフスーパーバイザーおよびスーパーバイザーによるOJT推進リーダーとの若手職員個々の支援能力向上に関する協議や対象者へ支援を行い、支援能力向上につなげたことから事業の有効性は高い。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

基礎的経営改善普及事業に関しては商工会内OJTで、高度な案件に関してはスーパーバイザーや専門家に対応するなど役割分担を行い、効率的に実施した。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合

OJT推進ガイドラインを基に、各商工会のOJT推進リーダーと連携した支援対象者の能力強化を行うことができた。

3. 課題

多様化・高度化する経営課題に対応するためにOJT推進リーダーの対応力向上を図ることが必要である。

4. 今後の対応方針(改善点)

職員個々の能力を最大限に引き出すため、OJT推進リーダーとの連携とOJTのサポート強化を行い、マネジメント力の強化を図る。